

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地

## 特集

精神障害者の地域生活を  
どう創っていくか。先人に聴く。



けやきまつりの光景

No.271



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# 精神障害者の地域生活を どう創つていくか。先人に聴く。

八月の八八回理事会では法人の評議員二三名の方が承認されました。精神障害福祉分野では三人の方に評議員を承諾していただきました。

一人は、障害者団体の代表で芳賀地区精神障害者援護会(やしお会)の会長である仁平満さん、もうひと方は、文化関係者から陶芸家の成井恒夫さんです。けやき作業所が自立して四年。精神障害者の拠点である第二けやき作業所を設置して三年。今、精神障害者の社会復帰施設の認可が大きな課題(七月号掲載)となる中で、精神障害者保健福祉法という福祉を取り込んだこの法律が、財政問題の解決であったことが明らかになってきたこの七年間という中で第二けやき作業所とライフサポートセンターが関東地区精神障害者福祉の拠点となるにはどんな役割を果たしていけばいいのか。その方向をお二人の話の中で探っていきたいと思います。

## 昭和の歴史をきいた

仁平 満さん(農業・九〇歳)

高橋

お年からすると第二次世界大戦真っ只中で青春時代をすごされたと思うのですが。

仁平

近衛兵だったんですよ。徴集さ

れないと思っていたんですが、戦況が怪しくなってきたころ満州へ徴兵されました。そして、まったく説明のないまま南方の戦場に行きました。私には妻と両親がいたものですが死ねつもりはまったくなく、なんとか生きて帰ろうというも考えていました。上官がマラリアにかかり一般のボロ漁船で帰国する船に二人で乗れたんです。奇跡的に広島にたどり着き、原爆ものがれ、茨城に戻ってきました。戦争で生きて帰ってくるということとは運ですね。

戦後は、アメリカの農地解放があり、命令に従わない地主と小作人との大農民運動が起こったんです。土地が開放されると運動は急速に下火になってしまいました。精神障害者との接点は。

高橋 仁平

私の妹が精神障害だったんです。中学卒業時期に発症しました。当時は今のようない葉がなかったのです。初めのうちは一年周期の再発が最後のころは一カ月と短くなっていきました。入院が続き…三年前に死にました。

高橋

家族会運動はいつごろから関わってきたのですか。

仁平

三〇年ごろ前だったと思います。保健所が音頭をとって家族会を組織しました。そのときから益子の責任者をやっています。そのころは全市町村に会があり活発な活動をしていましたが、近年は役員の高齢化で低調です。ライフサポートセンターの家族会も大切にしてください。

高橋

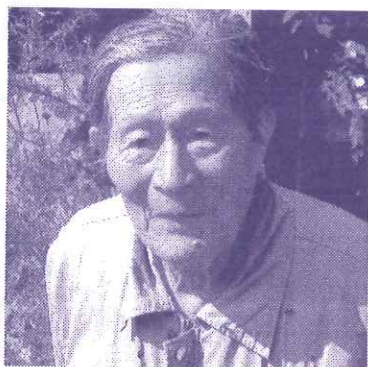
仁平

精神障害者を持った家族の状況はどんな様子だったのでしょうか。一五年前に家族会で医療負担の調査をしたのですが、三分の一は生活保護、三分の一は公費負担(措置入院)、残りが自己負担という状況でした。私の場合は自己負担で、月七、八万円位。入院院を繰り返していましたから膨大な医療費だったんです。零細な農業を営んでいましたから山を売って支払い、今では山を全部売ってしまいました。そんな家族は沢山あると思いますよ。皆古い家に暮らしています。精神保健福祉法で精神障害者に対する社会福祉が法的に位置づけられました。同時に医療費の公費負担がなくなり、こうした家族が一気に増えました。精神保健福祉法に改正されても

高橋

仁平

福祉分野については、今年の施設認可の実態をみても本気になつて進めようとは思いません。むしろ、医療費の削減が目的だったといわざるを得ませんよ。そのほかに家族会としてはどんな活動をすすめてらしたのですか。



仁平さん

高橋

最後になります。が、家族会の今後の活動と、こぶしの会に対する希望などをお話いただけませんか。

① 特集

仁平

家族会(芳賀地区精神障害者援護会)には現在でも一〇%〜二〇%しか入会していません。まだまだ障害者を隠しておきたいという意識があると思います。これでは理解が深まるわけありません。ライフサポートセンターや作業所は市や町に一つずつは欲しいものです。グループホームはそれこそ沢山必要です。是非、こぶしの会と家族会で連携を深めて精神障害者の福祉を推進していただきたいと思っています。

高橋

是非、共同を深めていきたいですね。今日はありがとうございました。

### 哲学者・歴史家・精神分析家・そして陶芸家

成井 恒夫さん(六三歳)

高橋

成井さんは、ご自身の窯元に自然と精神に障害のある方が集まり、成井さんの下で自分自身に自信を持ち陶芸家として育っていくという、いわば看板のない無認可の社会復帰施設を営んでいるのではないかとさえ思える方で、精神障害分野で働く私たちの大先輩というような方です。今日は、長年の経験をお話いただく中で、社会復帰施設のあり方に示唆をいただくかと思っています。

精神障害者の活動に関わり始めたのはいつ頃からですか。

成井

五年ぐらい前。仁平さんに家族会に誘われてからです。しかし、これでは精神障害問題は参加する人も少なく何も解決しないと感じました。

高橋

ご自身が精神障害の方たちと関わりを持ち始めたきっかけは。

成井

姉が精神障害だったからです。七人兄弟だったのですが、なんとなく自分が面倒を見るようになってしまったんです。

高橋

成井さんのやさしい人柄が伝わってくる話ですね。ところでなぜ精神に障害のある人たちがここに来るようになったのですか。

成井

私の家は三代に渡る窯元なのです。当時は家父長制の時代でしたが、成井家は自由な空気があり、長男が家を継ぎ、兄弟はその下で働くというのが一般的という中で、私たち兄弟はいろんな職業につき、結果として兄が後を継ぎ、私はその手伝いをしていました。陶芸の技術は窯元で働く高齢の人たちの仕事を見る中で学び、仕事の習慣も空気で学んだ気がします。彼らを見ながらの生活は陶器作り一万年の歴史を学ぶようで安心感がありました。今の人はただ「今」に参加して、「今」を生きる技術しか学べないので次の今が不安になってしまっているのではないかと思います。人間国宝を目差すだけでは私も病気になるかもしれません。益子ではこれからという人たちが不安になる。大切なのは自分が納得する感

性で仕事をする事で、商人からの評価ではないと思います。

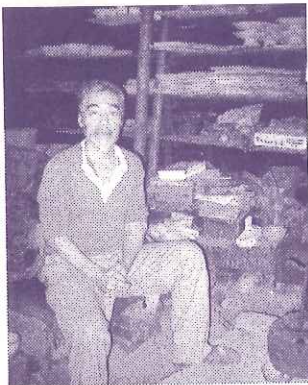
益子という土地は交流の場を結構持っている。その中で外国人や著名な職人の奥さん、今の時代に、心に不安を抱えた人たちが成井窯の噂を聞くのだと思います。

高橋

地域の中にそうした一人ひとり的人間的感性を大切にしたいと、情報ネットワークが息づいているということは大切ですね。成井窯からどれくらい若者が巣立っていったのですか。

成井

よく聞かれることですが、自分でもよく分からないくらいです。独立していく若者の中には、障害の自覚のない人がいて、病院で診てもらおうという言おうかと自分自身悩むこともあります。診察が遅れて発症してしまった人もいます。こういうことは専門の人が対応してもらおうというのではないかとつくづく思います。芳賀にライフサポートセンターができて本当に良かったと思っています。



成井さん

高橋

今回、こぶしの会の評議員を受

成井

けていただいたのですが、何かご注文はございますか。

私はわたしに出来ることしかできません。私のところでやっているようなことをやる作業所を是非作ってほしい。登り窯を作るのから手伝えますし、場所も幾つか心当たりがあります。でも、あなたたちが作業所を作ってしまったらダメだと思えます。本人たちが一から作る自分たちの自信を取り戻せるようなそんな場所にしていくことが大切だと思います。

高橋

今、第二けやき作業所の認可を進めています。それに伴い専門の職員が増えます。現在の稲毛田(芳賀町)に事務所を置きますが、利用者の求める仕事作りをしたいし、その仕事にふさわしい場所に仕事場を作りたいと考えています。是非一緒に成井窯のような作業所を作りたいですね。

〈P.S〉

お二人のインタビューを聞かせていただいて本当に良かったと思いました。芳賀の地にも障害を持つ人たちの人生に共感し、その人間復権のためにがんばり続けてきた人たちの長い歴史を実感できたからです。その中では、おそらく多くの重すぎる事件もあったと思います。その一言一言が人間の薫り高いものでした。とても短いスペースと私達の能力では表現し尽くせないのが悔しい思いです。また、何かの機会に直接お話を聞く機会を作りたいと感じたインタビューでした。

(土田、高橋)

## こぶし作業所ニュース

### 日曜作業所 野外活動グループ

10月18日(土)、野外活動グループの第1回目の日曜作業所を行いました。メンバーは天谷さん・飯野さん・大木さんの3名で、柳田緑地公園に行ってきました。

当日は秋晴れのいい天気でした。11時に集合してまずは公園でブランコにのったり追いかっこをしてみたり。ほかほかの日差しはとても気持ちが良いものでした。昼食をとり休憩を少しとったあと、川原まで行ってみようと歩き出しました。野球場の奥には土手があって少し大変でしたががんばって歩きました。しかし川原はまだまだ先の様子。もう少しで川原まで行けそうでしたが、解散時間まであとわずか・・・ということで、後ろ髪をひかれる思いで引き返してきたのでした。

川原まで行きたいと職員の手を引く天谷さん、穏やかな表情で公園内を走り回る大木さん、食休みもほどほどに「遊んできていいかい?」とブランコにかけよる飯野さん。皆、作業所では見られない表情をたくさん見せてくれました。

「次はもっとゆっくり来ようね」「次はもっと広い公園に行こうか」という職員の言葉に3人とも笑顔で応えてくれました。今度はカメラを持って行こうね。

### \*なかま\*

～缶回収～

10月

10月のある日、井沢さんと野口さんと職員3人でいつもの缶回収に行きました。途中から小雨となりあいにくの天気でしたが、回収が終わった後トラックの中で、井沢さんはまず自分のタオルで頭を拭きました。その後、野口さんの頭を、自分の使っていたタオルではなく、野口さん用のタオルでばあっと拭いてあげていました。とてもニコニコしていました。ほほえましい光景でした。



### バイオリンコンサート

9月25日(木)こぶし作業所にて、相川素子さん(生活支援ワーカー)・沼生友紀さん(ボランティア)によるバイオリンコンサートが行われました。

利用者からひいてもらいたい曲や、歌いたい曲を選んで希望を出しました。最初はエレクトーンに合わせてみんなで歌をうたい、あいだにお茶の時間を入れておいしいお茶を飲みました。バイオリンの演奏になると、迫力ある曲では真剣に目を開いて聴く人、静かな曲になるとウトウト、居眠りをする人の姿もみられました。

今回、初めての取り組みでしたが、みな楽しい時間を過ごすことができました。これからも、続けていきたいと思っています。

#### みんなであいましょう

エレクトーン：沼生さん

1. ドラえもん
2. そんな町を
3. たんぼ
4. サザエさん
5. てのひらをたいように
6. うえをむいてあるこう

お茶の時間

#### バイオリンえんそう

バイオリン：相川さん

1. かばていな
2. ゆーもれすく
3. めめえっと
4. がぼっと
5. とらいめらい
6. たいすのめいそうきょく

さいご

かわのながれのように

③ けやき作業所

パン屋さんで働きたい!  
「魅力ある仕事こそ人をつくるのか?」

けやき作業所にここにパン屋さんで働きたい!そんな夢をもってTさんがけやき作業所を訪れたのは平成一四年でした。毎週月曜日、パン屋さんの体験実習をライフサポートセンターのスタッフと共にを行いました。(ジョブコーチ)彼の希望が実現することを願っていた私たちがでしたが、Tさんの熱い想いは空回りしてしまいました。パン屋さんの職員からTさんへの要望は「工場長や班長の話を聞いて欲しい」という、仕事をやる上では決定的に大切な事からでした。その後彼の課題を克服すべく、第二けやき作業所の登録となりました。

失意の中で、電子部品輸送トレーの選別作業を始めたTさんですが、作業もめきめき覚えてくると同時に、気持ちにも余裕が出てきた頃、「ここにパン屋さんで働きたい」「パンの作業所を作りたい」とスタッフや所長にパン屋への夢を訴える日々が続きました。しかし、その時の私たちの返答はNO!「すぐには無理だよ」「他人の話が聞けなくちゃ」など、課題を山盛り積み上げては、Tさんのはやる想いに水をさすような言い訳に終始していた気がします。

自立? 孤軍奮闘

そんな私たちに見切りをつけるように、精神保健福祉手帳をもっていったTさんでしたが、「知的障害の授産施設であるけやき作業所に登録したい!」「ここにパン屋さんに一歩でも近づきたい」という一心からだったのでしょうか、今年の春、Tさん自らが必要な手続きを調べて関係機関を回り、療育手帳を所得してしまいました。

スタッフを尻目に、Tさんの真剣な訴えは私たち職員のかたくなな専門家?意識を変えていきました。今、第二けやき作業所で作業しているTさんの姿を見ることはありません。

Tさんは将来、調理パンを作ることに役立てたいと、けやき作業所の厨房で毎日給食を作っています。一年前、空回りだった熱い想いは、今、パン屋さんへの夢に向かう安定した力に変わり、あの時こわばっていた形相は、出会う人すべてを幸せにさせてしまうような充実した素敵な笑

けやき作業所

Tさんへの一問一答

顔へと変わってきています。当初心配していたのめり込むような仕事ぶりには無く、自分の体調に合わせて休暇を自ら取ることも出来ています。Tさんの夢に向かって輝いている姿は、障害がある・ないにかかわらず、人としての仕事の意味を考えさせてくれているような気がしてなりません。

問「けやき」を利用するきっかけは?

答 パン屋さんでの就労経験がありますが失業してしまいました。どうしてもパン作りをしたかったのと、河内郡の岡本にある精神保健福祉センターで再びパン作りを体験して、パン作りへのスタッフからけやき作業所の紹介がありました。

問 けやき作業所でのパン実習の感想は?

答 けやき作業所でのパンの体験参加でしたが、あの時はけやき作業所での自分が働くための契約書を所長、副所長に提出していなかったの

で、本番まで至らなかつたです。楽しかつたのはパンの生地をこねるところでしたが、次の作業が気になってしまうこともありましたが、ジョブコーチも一緒でしたが、よく見て、働いてくださった。

問 第二けやきでの下請け作業はどうでしたか?

答 トレー作業は、番数の見分けが特に難しい分野でした。

問 作業所作りの意欲はどうになりましたか?

答 パン作りが好きな一般社会に出られなかつた人達や、障害を持つている人達が集まり、仲間を見つげるためにも、新しい作業所の建設が最も必要だと思えます。

問 今の厨房実習はどうですか?

答 今現在、自分は調理実習に就いていますが、毎日一つ一つの仕事をていねいに仕上げています。ジョブコーチも一緒に見ながら注意もしてくれます。

問 パン屋への夢はどうなりましたか?

答 私は、ここにパン屋さんのように、土日祝日が休みで規則正しい生活が送れるパン屋さんで働くことを希望しています。将来は、けやき作業所にここにパン屋さんから、県北にある黒磯市のパン工場の求人募集を待っています。



県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

窓から見える景色…赤や黄色の木々を眺めているとのんびりした気分になりませんか?

秋晴れのもとスポーツに学びをそして遊びにも思いっきり取り組んでみませんか?

楽しんで後はおいしい食べ物をたくさん食べて栄養満点を目指しましょう!

## いかがでしたか? やどかりの里

10月から業務の合間をぬってほっとCHAスタッフはさいたま市にあります「やどかりの里」(精神障害者地域生活支援センター)の1日体験研修に参加しています。ほっとCHAのスタッフは普段は来所される方の相談を聞いたり、生活するうえで足りないところのお手伝いをしたりしていますが、今回はスタッフ自身が来所されるかたの気持ちになっていろいろなことを学んできました。その時の報告です。

### 「やどかりの里体験研修に参加して」

今回の研修では、さいたま市に3ヶ所ある支援センターのうちの東部生活支援センターを見学した。東部生活支援センターはアパートの一室を借りて運営されていた。壁一面に掲示物がはってあり、ミーティング時の決定事項などがはられていた。現在のやどかりの里では職員会議をなくし、かわりにスタッフ・メンバーと一緒に第3木曜会という話し合いを行っている。職員会議で話し合われる事柄に、果たしてどれほど秘密保持を要するものがあるのか。スタッフ・メンバー間に情報量の格差がある状態で対等な関係といえるのか疑問に思い、結果として職員会議がなくなったという。福祉とは何か深く考察するきっかけとなる研修であった。

やる気1番 職員

## 練習 必要ですかね?

去る10月3日栃木県精神衛生協会主催のソフトバレーボール大会に参加してきました。当日選手として参加した男性メンバーさん4名と花の応援団女性メンバーさん2名で熱い一日を過ごしてきました。そんな熱い一日に参加されたメンバーさんの感想の一部をご紹介します。

当日は殆んどぶっつけ本番でした。なにしろ練習したのが前日の昼休み1回きり。殆んど負けて当然でした。でも、実際の試合になるとスパイク&ブロック禁止のせいか、ひょっとすると勝てるんじゃないかと思ったくらいの接戦で、惜しくも敗れるという感じでした。敗者復活戦でも接戦でジュースに持ち込みましたが、残念ながら負けてしまいました。全体的な感想としては久しぶりに体を動かして、楽しかったです。

それと応援に来てくれた人達にこの場でお礼を言いたいです。「どうもありがとう」

K. T

ほっとCHAのスポーツ交流会はじつは…卓球やバドミントンとなかなか人目にふれることがないところ?で取り組んではいるんです。継続性がないから一向に強くならないんですかね…

来月以降も不定期ですがスポーツ交流会を予定しています。少しずつ仲間を増やし、いろいろなスポーツにみんなで行ってみたいと考えています。興味・関心のおありの方は是非一緒に楽しみませんか?

## 職員紹介

～10月より新しい職員が加わりました!～

杉田晴紀

「前職も精神障害者地域生活支援センターに勤務していました」 どうぞ宜しくお願いします。

♪ほっとお茶を飲む気分でお気軽にお出かけ下さい。お待ちしております♪

# みらいニュース



## 「暮らしの場を考える会」 がグループホーム見学

セルプ・みらいでは、平成一五年度四月に保護者を交えて「暮らしの場を考える会」を設立しました。参加者は約一〇名程度となり、それぞれの思いをもって会に参加していただいています。これまでの話し合いの中で、グループホームへの見学会の話が出て、九月二三日(月)、美里学園様のグループホーム、四力所を見学に行ってきました。見学に際しては、全国手をつなぐ育成会から出版されている「グループホーム」の文献を回覧し見学へのステップとしました。見学は一時三〇分から一五時までと長時間にわたって行われました。内容は、四つのグループホームの部屋の様子を拝見し、また、世話人さんの話そしてバックアップ施設(美里学園様)の施設長・理事長からの話を聞くことができました。そこでは、生活の様子・居室の問題・グループホームの家賃や生活にかかる費用の問題など、考えを深める題材を多く学ぶことができました。また、見学に参加した保護者からも大変勉強になったとの感想が寄せられました。

今後は、第二回のグループホーム見学会を実施したり、障害のある人たちが地域で暮らすためには、グループホームと

いう形態にとらわれず、よりよい形の生活の場とはどんなものかをみんなで検討していこうと考えています。これからも、皆様のご協力をお願いすることがあるかと思えますがよろしくお願いいたします。最後にお忙しい中、長時間の見学会を快く受けていただいた美里学園様には、この場をおかりして御礼を申し上げますと思います。本当にありがとうございます。

(感想の一部紹介)

- 障害年金で生活費をまかなうことができることが分かった。
- 一人部屋・二人部屋などいろいろなタイプのグループホームがあることが分かった。
- 休日はヘルパーなどを利用して活動することができるということを知った。
- お酒やタバコを吸う人がいることにびっくりした。

## カラオケ機を購入しました!

仲間達の誰もが、待ちに待ったカラオケ機が、八月二五日、ついにセルプ・みらいにやって来ました!マイクを持ったら離さない仲間たちが多い中、さっそく、お披露目をしました。作業が忙しく、短い時間ではありましたが、自分達のカラオケ機で歌えるということで、皆満足

顔でした。今から、本格的なカラオケ大会をするのが楽しみです。



## 秋祭り開催!

一〇月四日(土)に、保護者会主催による「秋祭り」が開かれました。当日は、天候にも恵まれ、仲間や保護者、みらいの会の方々などが大勢集まり親睦を深めることができました。皆でビンゴゲームをやり、その後は、「手話サークル」による「笠じぞう」の手話劇を鑑賞し、パーベキューに舌鼓を打ちました。青空の下で、食べる肉ややさそば、「セルプ・みらい」の畑でとれたピーマン、ナスの味は、格別でした。忙しい中、準備をして下さった保護者会の皆様本当にありがとうございました。

僕たちのこと  
もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
028-687-1040



**こぶし作業所・後援会  
ボランティア大募集!**

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所  
☎028(662)1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所  
☆県東ライフサポートセンター




**ボランティア大募集**

**セルフみらい**

箱折り、リサイクル作業  
弁当配達のお手伝い  
作業ボランティア...etc

☆仲間と一緒に楽しい時間を過ごしましょう☆



発行所 郵便番号二五〇〇七三

東京都「谷区砧六―二六―二一」特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円

社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912  
TEL 028(613)5703  
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028(622)0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028(662)5533
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
デイサービスセンター  
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789  
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818  
TEL 028(687)0311 FAX 028(687)0325
- 県東ライフサポートセンター
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028(677)4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
TEL 028(677)2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025  
TEL 028(677)0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177  
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp